

広袴便り

広袴町内会
会報第 53 号

発行日
令和3年1月1日

責任者
町内会
広袴 秋夫
石倉

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切に作る町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

新年の挨拶

【会長 石倉 秋夫】



広袴町内会員の皆様、新年おめでとうございます。

日頃から皆様には、町内会運営に対し、ご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

令和二年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの影響で、町内会行事で一番の定期総会が書面審議となり、その他夏祭り、鶴連交流の運動会が中止となりました。

その他の行事、事業に関しては一部縮小したり三密を避ける方法を取りながら実施できたことは、関係者皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。

また、会館を使用するサークルの皆様には、一時使用禁止の時期もありました。いろいろの工夫をしていただき現在は活動できておりますが、今年度も感染拡大の予断を許さない厳しい中、状況を見極めながら行事の開催の判断をしてまいりたいと思います。

次に町内会組織の変更の件ですが、現在の防災防犯部から「防災」を切り離して独立させて活動する案を昨年から検討してまいりました。災害に対しては多くの基礎知識を吸収する必要がありますが、現在部員の任期が一年と二年と短く、まさかの時に備えた活動が

継続的に行えないのが現状です。

昨年より三役及び委員数名にて、この案件で五回程の会合を重ねてまいりました。その間、市役所主催の防災研修会や消防署主催の研修会等へ手分けをして参加し、どのような組織が一番良いかを検討してまいりました。名称は「広袴自主防災隊」です。現在、大まかな組織と内容については固まってきましたので早いスタートを目指してまいります。引き続き皆様のご協力とご理解をお願い致します。

【副会長 池内 正雄】

明けましておめでとうございます。



新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち普段の生活を取り戻し、広袴町内会の親睦行事、伝統ある行事も今年は全て実施できるよう強く祈願致します。

昨年は定期総会及び納涼盆踊り大会も残念ながら中止いたしました。が住まい周辺の清掃、調整池周辺の清掃活動などの環境厚生活動、作品展示会の文化活動を感染防止に注意を払いながら実施致しました。また防災訓練活動・自主防災体制構築などの重要な活動は滞りなく実施中です。

新年のどんと焼き、親子餅つき大会なども慎重に相談中です、滞りなく開催ができることを願います。

さて町内会活動拠点の広袴会館利用は四月に発出された緊急事態宣言により利用予約会員さまにキャンセルをお願いし大変ご不便をお掛け致しました。八月より例年通りの利用予約状況にほぼ戻りました。しかし油断することなくコロナ感染防止策を施す為に対面会話などに備えるコロナ飛沫防止の器具を役員一同で製作致しましたのでご利用下さい。今年は五年ぶりの会館改修を予定してありますが、町田市の補助金が申請通り交付されるか予断を許せません。会館改修作業は今年の十二月頃を予定しています。ご不便をお掛け致しますが宜しくご容赦下さい。

会員様の高齢化などにより町内会活動の策定には十分な配慮を交え進めたく存じますがデジタル社会への支えも町内会活動の一部と考えます、スマホ等情報機器が公共と市民を結ぶ媒体機器として重要な役目を果たす社会が迫ってきました。町内会員の皆様に頼りがいのある町内会組織と致したく今後多大なるご協力を賜りたく簡単ですがご挨拶と致します。

【副会長 山際 哲明】

町内会の皆様、新年明けましておめでとうございます。



昨年は新型コロナウイルス感染が世界中に広がり、楽しみにしていたオリンピックの開催が延期され、各種スポーツ祭典やイベントが軒

並み中止に追い込まれる事態となりました。その影響を受け広袴町内会の活動や楽しみにしていた夏の盆踊りや地域の大事な防災訓練も中止となり、寂しい状態でした。

しかし防災訓練に関して、鶴川消防署と相談の結果、



消防団第七部の協力を得ながら参加人数及び時間制限するなど規模を縮小して防災訓練を開催することができました。中止期間の教訓を受け、広袴町内会の防災意識の変化もあり、防災組織改革を行うことができました。

近年の災害状況をみましても、年々災害の規模も多様化してきております。町内会といたしましても継続的に長く防災活動ができる組織として「広袴自主防災隊」を新しく発足いたしました。新年のこの場をお借りして町内会員様の多大なご理解とご協力に心から感謝申し上げます。また防災活動に興味のある方はぜひ声をかけて頂き、安心安全な町づくりに一緒に参加していただければ幸いです。

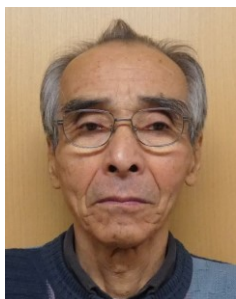
環境厚生部も新型コロナウイルスの影響を受け、特に調整池周辺の草刈りなどは日程的に市役所との調整が上手くいかず、ちぐはぐな形になり、町内会の皆様に大変なご迷惑をお掛け致しました。

本年も綺麗な町づくりを目標に部員一同頑張りますので皆様のご協力をお願い致します。

【副会長 柏 司浩】

あけましておめでとうございます。

旧年は、町内会の行事にご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。



昨年は、納涼盆踊り大会を実施するにあたり、いろいろ検討しましたが、模擬店や盆踊り等で三密が避けられない

ということにより、大会を中止しました。誠に残念でありました。今年は、盛大に実施できればと思います。ただ気になることがあります。市が広場の東側（会館側）、南側の空き地に、白樫を列植したのです。使

用面積が大幅に制限されることとなりました。開催にあたっては、いろいろと検討しなければならないと思います。

今後、白樫が繁茂すると広場が目隠し状態となり、犯罪が発生するのではないかと危惧されます。東側の列植は、会館や家屋と離れているので植栽する必要はないと感じます。今後注視していかなければと思います。秋の作品展は、展品の間隔を空け、また換気を十分にに行い、マスク着用を徹底して開催しました。多数の作品展示があり、また多くの方に来場していただき誠に有難うございました。何事もなく無事終了できましたこと、皆さんのご協力に感謝いたします。乱文ですが、新年の挨拶とします。

総病忠告



令和二年 神明社禮大祭

令和二年九月二十七日（日）神明社の禮大祭（れいたいさい）が執り行われました。

今年は、六十三年使われてきたのぼり旗を新調し、節目となる年でした。のぼり旗の字は十組の中田様が書かれ、作成は（株）セン・カネコ様でした。中田さんの文字が悠々としていて、素晴らしいのぼり旗でした。前日の二十六日宵宮祭（よいみやまつり）が行われ

ました。今年は、コロナのため、直会（なおらい）の催しは行われませんでした。密をさけながら、参拝される多くの方々から来られました。二十七日の禮大祭は雨が上がり、新しいのぼり旗が掲げられていました。

式典は厳かでした。池田宮司



より「コロナで神事をしないところも沢山あったなか、神明社は出来た事が喜ばしいです。密になることで成り立つ神社、コロナで密にはなっていない今、鎮静を祈るしかない」との言葉でした。

例年のお神輿は中止でした。宮司がおっしゃっていたように、来年はコロナが鎮静し、禮大祭が盛大に行われることを切に願います。



神明社が護ってくださいのおかげか、広袴は、清らかでのかなな空気が流れていると感じます。筆者は初めて禮大祭に参加しましたが、神明社を守り、次世代につなげるため、多くの方々が関わっていました。本当にありがたいことだと思いました。（六組 木内）

※禮大祭・・・れいたさい。例大祭とも。神社で執り行われる祭祀のうち、もつとも重要とされるもののこと。（出典・・・ウィキペディア）
※宵宮祭・・・よいみやまつり。例祭の前夜に行われる小祭。（出典・・・コトバンク）
※直会・・・なおらい。祭祀の最後に、神事に参加したものの一同で神酒を戴き神饌を食する行事（共飲共食儀礼）（出典・・・ウィキペディア）



作品展示会

十月二十四日(土)、二十五日(日)広袴会館において作品展示会が開催されました。

子どもたちの作品や、大作のキルト、一瞬を感じる写真、玄人肌の編み物、絵画、彫刻、人形の洋服などなど。お一人お一人の時間を共有させて頂いた作品展示会でした。



家族の方々を案内する子供達の姿は、誇らしくも感じられました。

二日間を通して、会館には100名を超える方々が秋のひと時を楽しまれたようです。

作品展示会の小さな出会いが、新しい時間につながった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

出展していただいた方々、実行委員会の皆様、ありがとうございました。(二組 井川)

作品を出展された一部の方にお話を伺うことができました。



●田邊寿美子さん(押し絵)

羽子板師に一年間習い、その後ご自身でアレンジ考案し、「千支」半ば飾りなど二十年に渡り多くの作

品を作られ、銀行や病院などにも展示されたり、毎年「千支」の壁掛けは六十個ぐらい作り、皆さんに喜ばれているそうです。この時期は腱鞘炎になりながらも制作活動をしているとの事です。

●田中はち江さん(指編み)

百円の一玉の毛糸で素敵なマフラーが出来るそうです。編み方のレクチャーをして下さいました。小さなお子さんから、お年寄りまで楽しくできそうです。

●阿久津一雄さん(細密画)

4B・2B・HB・2Hの4種類の鉛筆で描いているそうです。一日に5時間位、全体仕上げるのに3日間程かかるそうです。自分ではまだ、7分8分の仕上がりでまだまだ手を加えられると聞き、細密画の奥深さを感じました。

●吉川光也さん(仏像彫刻)

一つの作品を仕上げるのに半年位かかるとの事です。木に歪みが出たりすると、彫ることが出来ないのです、その歪みが起きなければ2ヶ月位で彫れるそうです。独学で作られているとの事です!

●岩崎しゅりちゃん(折り紙)

作り方はお友達から習い、制作日数は1週間!花びらになる角の折り方が難しかったそうです。



皆さん趣味として楽しんで作品を作られている事のように、どの作品も素晴らしく感動を受けてました。

(二組 吉川)



吉川動物病院



診療時間 / 午前9:00~12:00
午後3:30~6:30
日・祭日/休診

町田市広袴 3-3-11

☎735-3487



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴 2-17-14

TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

広報部長 編集人

内田尚志
吉川市郎
白山修一
足立聡司

副部長

井川 啓
廣嶋 淳一
吉川 和秀
岩崎 一朗
木内 哲也
原田 修

サークル訪問（わくわく書道教室）

十一月十二日（木）、わくわく書道教室の訪問取材をしてきました。当日は一〇名の皆さんが書道の練習をしていました。先生のお手本を参考に一字一字、丁寧に書いていき、二時間近くたつぷりと書に没頭します。その間に先生のコメントと添削を頂きながら練習を進めていくという流れです。

◆先生の経歴紹介、始めたきっかけ等◆

「名前は池田正保といいます。出身は九州の佐賀県で学校卒業後上京し、警察官として定年まで勤務いたしました。趣味でやっていた書道を通信教育で資格を取ったのをきっかけに書道をみんなで楽しみながら、そして仲間づくりにお役に立てればとの思いで教え始めました。先生と呼ばれるのは照れ臭いですが、書道はいくつになっても筆を持つ力さえあれば出来ますので、これからも皆さんと楽しくやっていきたいと思っています」

◆生徒さんたちの声◆

●最初、主人がやり始めたんですがあまり上手にならないので私が引き継ぎ参加してます。（三宅さん）



後列左から青木さん、田中さん、山川さん、山際さん、土屋さん、阿波根さん、三宅さん
前列左から小川さん、先生、吉川さん、津志田さん

場所：広袴会館
日時：第2木曜日 10時～12時
料金：¥4,000位／半年
講師料等の経費として
042-736-2041(山川まで)

●書くことも好きですが墨の匂いが大好きなので参りました。（津志田さん）

●あまり好きではなかったんですが、娘たちが習っており負けまいと思いつきました。（田中さん）

●字を書くのは好きですが上手ではありません。でも丁寧に書くことを覚えました。（吉川さん）

●先生に褒められてすっかりその気になっています。もう少し上手になりたいです。（阿波根さん）

●自分の字がいい加減だと気付き入会しました。良くなっている実感があります。（小川さん）

●誘われて入会しました。小学校以来のお習字ですが楽しく練習しています。（土屋さん）

●子育ても一段落して学生時代やっていた書道をも一度やりたいと思いつきました。（青木さん）

●長いことやっていますが、二時間座って落ち着いて書くのは精神的にもとても良いです。（山川さん）

●書くのは好きですが先生に「あまり上手にならなくていいよ」と言われ気楽に楽しくやっています。（山際さん）

先生のお人柄でしょうか、皆さん和気あいあいで和やかな書道教室でした。（十二組 内田）

広袴町内会、サークル等からのお知らせ

絵画教室

- 第1、第3水曜日 1:30～
- 参加費：¥100/回
- 090-1217-3254(大久保まで)



英会話教室

- 第1、第3木曜日 10:30～
- 参加費：¥2,000/月
- 042-734-5506(熊田まで)



町トレ

- 水曜日 10:30～11:00
- 参加費：¥50/回
- 042-737-0336(大久保まで)



広袴町内会には上記以外にも書道、麻雀、絵画教室、囲碁、ヨガ、詩吟、等たくさんのサークルがあります。このコーナーを通じて少しでもサークル活動の活性化にお役に立てるよう今後も紹介をしていく予定です。

（掲載の申込みは、広報部：内田、岩崎まで）

町内会HP



防災訓練を実施

十月二十四日（日）に、町田消防署・地元消防団の方々を招いて防災訓練を実施いたしました。

例年は多くの町内会の方々に参加していただいていたのですが、今年はコロナ禍ということもあり、町内会の防災・防犯・交通部のメンバーを中心におよそ三十名限定で実施いたしました。参加を希望されいていた皆様、ごめんなさい。

消防署員の指導の下、心臓マッサージのやり方、AED（自動体外式除細動器）の使い方、三角巾の使い方を教えていただきました。

心臓マッサージにトライした自分は、消防署員から「上手ですね！」とお褒めのお言葉をいただきましたが、実際にまさかの場面で上手くできるかは自信がありません。

教えていただくことは毎回同じかもしれませんが、「一回教えてもらっただけじゃ、覚えられないだよねえ」という声が聞かれるのも毎回です。いざという時のために繰り返し経験を重ねることは大事ですね。次回以降は町内会の多くの皆さんに体験していただければと思います。（六組 岩崎）



火災防止活動表彰式

十一月十四日（土）、町田消防署より感謝状を授与されました。これは町田市で毎年、秋の火災防止運動の時期に火災予防訓練を継続的に実施している町会並びに自治会に対して町田消防所長より贈呈されるものであります。

例年は鶴川駅前のポプリホールで芸能人の方も招いて盛大に行っているのですが、コロナ禍においてはなかなか難しいということで町田消防署の方々が広務会館に向かわれて行われました。

当日は石倉会長をはじめ副会長、防災防犯部長が列席して授与式が行われ、町田消防署長代理の方から感謝状を頂きました。

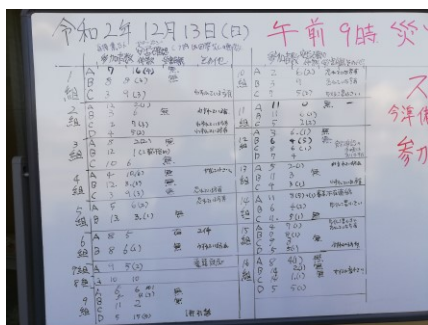
最後に町田消防署からこれからも引き続き火災防止の啓蒙活動に取り組んで頂きますようにとのご依頼を承り、滞りなく終了いたしました。（十二組 内田）



安否確認訓練

十二月十三日（日）、安否確認訓練が行われました。今回は、これまでの訓練以上に実際に災害が起きた時を想定した訓練にバージョンアップし、安全・生存を確認するだけに留まらない「もしもの時に自分が助けてもらう」ための行動訓練として行われました。

当日は、すべての班長さんもしくはその代理の方から会館に設置された災害対策本部への安否確認の連絡がありました。ご協力ありがとうございました。



災害が起きた時にタンスの下敷きになって身動き取れなくなってしまう方、高齢な方など自力避難が困難な方の救助は、消防団や救助隊はあてになりません。一刻も早く救出するためには近所同士の協力が必要です。これは阪神淡路大震災のときの統計データでも明らかになっています。

もしもの時のために、ご近所の方々との「おはよう」「元気ですか」「まいどつ」などの挨拶だけでも行えたら、より災害に強い町になるのかなと思います。

当日は、消防署のご指導の下、スタンドパイプ操作訓練も行われました。広域災害時など消防団の出動では間に合いません。その時に備え、町内会で所有しています。（六組 岩崎）



▽▽地震に備える室内の安全対策△△

地震の際、建物が無事でも家具の転倒や散乱によって、出入り口がふさがれたり逃げ遅れたり、けがを負ったりすることがあります。近年発生した大きな地震での負傷原因は、約3〜5割の方が家具の転倒・落下によるものと言われています。そこで今回は地震の際の室内の安全対策についてのチェックポイントを検討します。

一、室内の危険な場所を調べる

● 玄関などの出入口に家具など倒れそうな物はないか

● 就寝中に地震が起きた時、下敷きになってしまう場に家具が置かれていないか

● 幼児、高齢者のいる部屋に不安定な家具が置かれていないか

二、家具の配置や収納場所を工夫する

● 不要な家具を片付ける

● 倒れても下敷きにならないような方向や位置へ、家具の配置を変更する

● 重い物は下の方に収納し、重心を低くする

● タンスなどの上に危険なものを載せない

● 火気の周囲に家具を置かない

三、家具を固定する

● 家具を転倒防止器具などで固定し、倒れ難くする

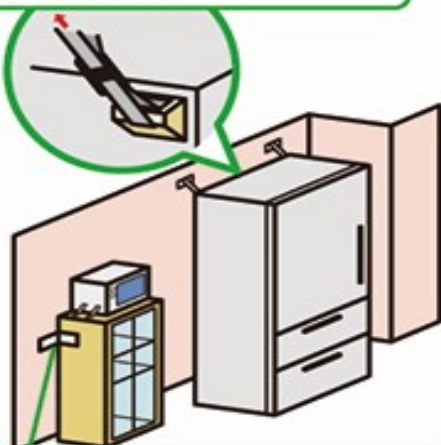
● 食器棚や窓などのガラスが割れた時、飛散防止フィルムなどを貼って破片が飛び散るのを防ぐ

● 扉が開いて中のものが飛び出さないよう、掛け金やラッチなど扉開閉防止器具を取り付ける

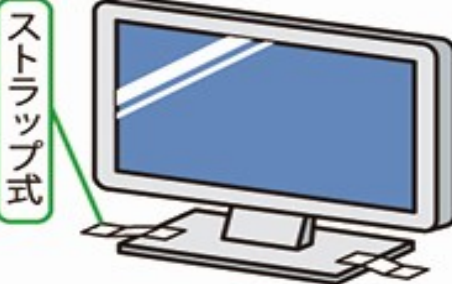
その他、ご自宅の各部屋を見回り少しでも危険だと気付かれた時は必ず安全対策を講じるようにしましょう(防災防犯部/広報部)

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

ベルト式
冷蔵庫は壁にベルトで
固定する。



粘着マットやベルトなどで
電子レンジを固定すると
ともに、台も壁に固定する。

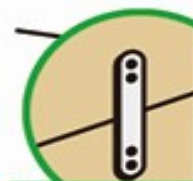


ストラップ式

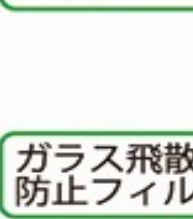
つつばり棒(ポール)

扉開放防止器具

L型金具
壁に強度が足りない
場合は、あて板
をつけネジが抜け
ないようにする。



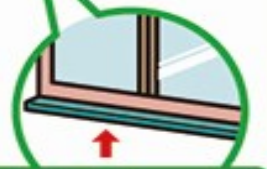
連結金具
上下に分かれてい
る家具は連結する。



ガラス飛散
防止フィルム



ストッパー式
つつばり棒を使用
するとき併用する。



※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

調整池周辺草刈り活動（秋）

十一月八日（日）、広袴調整池周辺の清掃活動が行われました。当日は天候に恵まれました。

まず八時五十分頃から有志による広袴会館の周辺の草取り、エンジン付き草刈り機、さらに公園グラウンドでの落ち葉を集めるための機械（枯れ葉を吹き飛ばす）等の作業から始めました。

公園周辺の草刈りは既に市により実施しているため、九時三十分頃からの参加者各位の清掃活動は、箒と塵取りによる落ち葉の収集と袋詰め等作業を行いました。皆さんの手際よさ、また多数の方々の参加により十時頃にはすべての作業を終了することができました。

参加者の皆様のお陰で、きれいな公園周辺になりました。ご協力ありがとうございました。

（十二組 原田）



広報部 サポートスタッフ募集

『広袴便り』と『ホームページ』の作成にご協力いただける方を募集いたします！

日頃から町内会活動にご協力をいただきありがとうございます。広報部をサポートしていただける方を募集いたします。

「委員や班長は大変そうだけど少しだけなら・・・」とお考えの方、ウェルカムですっ！

ご自身で身に着けたスキルを、町内会活動に役立てたいという方、ウェルカムですっ！

1. 広袴便りの編集作業

広報部員が集めて作成した記事を最終的に広袴便りとして編集する作業です。

PC 作業が得意な方、できれば Word を使える方を募集いたします。

現在の広袴便りの発行は年 3 回です。



2. 町内会ホームページ活用促進

閲覧や広袴便りだけでなく、町内住民向けの情報伝達、また災害発生時の迅速な情報伝達手段の一つとして、ホームページの活用促進を行いたいと考えています。

ホームページのデザイン見直し、コンテンツの充実化にご興味ある方を募集いたします。

なお、町内会や個人の情報保護の観点から、セキュリティ技術に精通されている方も募集いたします。

3. 広袴便りの電子化作業（PDF ファイル化）

過去に発行した広袴便りの電子保存とホームページ掲載のため、冊子になっている広袴便りを 1 ページごとにスキャナで読み取りの作業をしていただける方を募集いたします。

町内会広報部ML

ご興味ある方がありましたら、まずは広報部（メールあるいは内田／岩崎）までご連絡をお願いします。

ご相談に応じます。



【広報部からのお知らせ】

町内会に向けたご意見・ご要望・問合せを受け付けます。また広報紙へ掲載を希望する記事ネタ、風景やペットの写真・イラスト・漫画等を募集しています。ご希望の方は広報部まで。info@hirohakama.org（広報部 ML）



子ども会会員 随時募集中！
hirohakamakodomokai@gmail.com

子ども会MLアド



広袴おりおり

第 25 回

丹沢山地の雲海



今、『鬼滅の刃』が凄く評判であるが、その前に大きなブームだったアニメ映画の一つに『君の名は』が上がると思う。その作者、新海誠監督の映画の特徴の一つは、空の描き方が抜群に美しいことである。それは、本人が子供の頃に観た故郷の



1. 2. 2016. 1. 18



② 2015. 2. 9 7:11



③ 2017. 9. 12 6:38



④ 2018. 3. 9 17:22



2019. 2. 1

空の景色が反映されているのだと言う。

それと類似した体験は広袴でもできる。東側の住宅地の高台やその上の尾根道から眺められる広大な空のおりおりの表情が、住民に多くの感動を与えてきた。

筆者も、今まで多くの空の写真を撮ってきたが、その中で、今回は遠くの丹沢山地に時々観られる雲海にテーマを絞って掲載させて頂いた。その際、発生し易い時候を知って頂く為に撮影時刻も付した。夏を除いてどの季節でも観られ、また、早朝に観られる事が多いが夕方の場合もある。

写真①は、冬の降雪後の放射冷却の影響で雲海が夕刻に発生した。日没直後の黄色に染まった空の背景と、中景の雪屋根の住宅地、遠景の富士山と丹沢山地、そして雲海、それぞれの蒼み掛かった色とがコントラストを成し、幻想性を醸し出している。低気圧の通過が原因なので、②③④のよ

うに背景の空も雲が掛かっているケースが多く、雲海そのものが時々刻々姿形を変えていくことに加えて、辺りの空や雲も様々な表情を見せる。

もちろん撮影のタイミングによっても表情は異なる。⑤は真冬の朝、雲海が霞んで消え去ろうとしている時の撮影である。

早朝の束の間、気候的な諸条件が整った時だけに美しい姿を見せる朝焼けは、割と観るチャンスはあるはずなのだが、偶然か、余程その気にならない限り、飛び切りの美しい姿を拝むことはできない。雲海も、正にそれと似ている。



西空が黄色く染まる束の間の蒼き丹沢になびく雲海
(16組 篠田泰蔵)

余話

雲海の量が多い

時は、丹沢の山並が本当に海の島か岩のよう

に観えてくる。
写真⑥は雲海の量が非常に多く、前から後ろから、荒波のごとく丹沢山地を覆い被さっている。しかも空も暗く怪しいので、まるで荒れ狂う怒涛が、中景の広袴西側の住宅地にまで襲い掛かってくるようにも観えて、恐ろしい程の迫力であった。



⑥ 2011. 10. 12 6:12